

## 市川エコ・ステーションにおける事故発生と休業のお知らせ（お詫び）

昨日2月2日（土）午後5時15分ごろ、京葉ガスの天然ガス自動車へのガス充填所「市川エコ・ステーション」（市川市市川南2-7-6）において、定期点検の作業中に設備の一部を破損する事故が発生いたしました。

幸いにも、この事故によりけがなどを負われた方はいませんが、隣接する道路で信号待ちをしていた車両1台の塗装部分の一部を損傷いたしました。

事故の概要は以下のとおりで、事故発生の原因などにつきましては現在、調査中でございます。

この事故にともない、同エコ・ステーションは明日2月4日（月）以降、休業させていただきます。

当エコ・ステーションをご利用のお客さまをはじめ関係各所に多大なるご迷惑をおかけいたしますことをお詫び申し上げます。

当社は関係各所のご協力のもと原因究明に取り組み、再発防止をはかります。皆さまにご迷惑とご心配をおかけいたしますことを重ねてお詫び申し上げます。

### 【事故の概要】

- ・発生日時：平成20年2月2日（土）午後5時15分ごろ
- ・発生場所：市川エコ・ステーション（市川市市川南2-7-6）

定期点検の作業中（同エコ・ステーションの休業日）に、ガス圧縮装置（1）を作動させたところ、同装置の上部に設置してある鉄製のガス放散管（2）が途中部分で破断し、50A（内径50mm）のガス放散管の一部（約2m30cm / 重さ約25kg）が飛び、作業のため同エコ・ステーションに駐車中の車両（1台）のフロントガラス部分に当たった後、道路に面したフェンス内側に当たり止った。

### 【被害状況】

- ・ガス放散管の破断の際に直径1～2mm程度の活性炭（3）および部材の小さな破片が飛散した模様で、これにより、隣接の道路で信号待ちをしていた車両（4トントラック）の側面の塗装部分の一部を損傷（直径5mm程度の塗装の剥がれ）させた
- ・作業のため同エコ・ステーションに駐車中の車両（1台）のフロントガラス部分を破損
- ・エコ・ステーションの壁に設置の防犯センサーを破損。また、道路に面した金属製のフェンスの一部が曲がった
  - 1：約0.8MPa（メガパスカル）の都市ガスを約20MPa（メガパスカル）に圧縮する「高圧ガス製造設備」
  - 2：メンテナンスなどの際に不要となったガスを大気中に放出させるための管。装置内のガスの圧力が異常に上昇した際には安全装置が働き、この管より自動でガスを大気中に放出させる
  - 3：本設備では放散管の根元部分に活性炭を設置。ガスを大気中に放出させる場合に、ガスの臭いを取り除くためのもの。すでに回収しております。なお、飛散による人体への影響はありません

### 【今後の対応】

現在、原因の究明に取り組んでおり、判明次第、再発防止策を講じます。

現在のところ営業再開の目処は立っておりません。再開の予定につきましては別途、ご連絡させていただきます。事故の原因につきましても判明次第、ご連絡させていただきます。